

令和4年度 第2回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月20日（月） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階パソコン室
- 3 出席委員 藤澤 徳次、青山 敏郎、溝口 玄、田中 綾、太田 亜希子
- 4 欠席委員 内野 永士、今場 嘉寿、長田 テツ子
- 5 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 6 学 校 河内 浩（校長）、二橋 宏之（教頭）、伊藤 卓也（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし

9 協議事項

- （1）議長の選出について
- （2）学校の現状と課題について
- （3）ICTの活用について
- （4）地域人材の活用について

10 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

11 会議記録

司会の二橋教頭から、委員総数8人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）学校の現状と課題について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校の現状と課題について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 中学校の部活動でも外部講師が多くなってきている。小学校でも地域の方を講師として招くことができれば子供にとってもよい体験であり、講師の方にとっても自分のキャリアを活かせる場となるのではないか。（太田委員）
- ・ 他校との連合教育について子供にとっては楽しい経験のようである。中学校でも学校にいけない子供が増える中、小学校からそのような体験をどんどん取り入れるべきだと思う。（田中委員）
- ・ 部活や体験活動には外部人材が重要な存在だと理解できた。自分もこれから協力していきたい

いと思う。(藤澤委員)

- ・ 外部人材を招くことは、かえって先生方を忙しくしていないか、活動の効果はでているのか、よく熟議すべき事だと思う。体験活動を行うことによって学習活動を圧迫してはいけない。精選が必要である。教育課程全体のバランスはどうなっているのか知りたい。(青山会長)
 - ・ 時間数は、正直ギリギリで運営している。休校の予備時間で調整はしているが、工夫は必要である。精選もしていきたい。(伊藤)
 - ・ 児童の減少について、他地域の児童を入学させる考えはあるのか。(太田委員)
 - ・ 人数を増やすためだけの方針については、経験上問題があるように思っている。大変なことが多く、プラス面だけとは限らない。(青山会長)
 - ・ 人数の減少という課題は、学校というよりも地域にとっての課題である。(溝口副会長)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) ICTの活用について

議長の指示により、伊藤から、ICTの活用についての説明があり、実際に委員もタブレットの使用を体験する。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 地域人材の活用について

議長の指示により、伊藤から、たつ子ルームに掲示されている年間の活動写真に基づき地域人材の活用についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ サツマイモの苗の植え付け、花植えに関して募集を行ったところ7名の方に手伝ってもらったこととなった。まだ、人数を増やしたいため、龍山地域の方への声掛けも行っているところである。(太田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年10月18日(火)午後からパソコン室で開催する旨の報告があった。

また、教頭よりさくら連絡網への登録の依頼があり、全員意義なくこれを承認した。